

## 油山の宝物さがし ～長尾山市有林～

今年度は油山の国有林の利用について見てきたのでそろそろ市有林のことを考えてみます。

### ■ 市民の森の所有者

さて、市民の森は国有林、市有林、個人所有林から構成されると聞きます。「市民の森・油山牧場の概要」（昭和51年 福岡市）によると当時牧場も含めた管理総面積は110ha（市有林79.8ha、公社有林0.9ha、国有林29.1ha、民有林0.2ha）とのことで市有林が広く占めています。

### ■ 市民の森の歴史

「油山市民の森40年のあゆみ」（2010年 福岡市）に掲載されている「市民の森の建設の経緯」には「長尾山市有林72haは市民のいこいの場として開放しては・・・」との当時の福岡市森林組合長の日頃の提言が実現した、とあります。

市民の森成立の中心になった長尾山市有林。どのような歴史をもった場所なのでしょう？

### ■ 長尾山

昭和10年御生まれの東油山の方から樋井川村のことをうかがいました。（2010年）

「樋井川村が福岡市に合併したとき村有林が市有林となった。村有林はまぐさ山で80～60町歩。（1町部≒1ha）えさの刈場のみならず薪をとる山でもあったと聞く。

その場所は長尾山といい、自分たちは『なごやま』と呼んでいた。この場所になんらかの関係をもつ人は鳥飼くらいまでいた。樋井川沿いに関係者がいたという事なのだと思う。村有林の利用の権利がどのようになっていたかはっきり知らない。」

樋井川村以前、以後、市民の森以前、72haは誰の所有で誰にどのように利用されていたか知る機会があればよいですね。〈柴戸〉



〈表：樋井郷・樋井川村の沿革〉

とき	行政区に関することがら
1703年	貝原益軒「筑前国続風土記」を藩主に献上。この中で「樋井郷8村（早良郡）檜原村 檜原村 東油山村 堤村 片江村 長尾村 田島村 鳥飼村」との記載がある
1889年 (明治22年)	町村制施行により早良郡上長尾村, 下長尾村, 田島村, 片江村, 檜原村, 堤村, 柏原村, 東油山村が合併し早良郡樋井川村が発足。 早良郡谷村および鳥飼村・福岡区西町の一部が合併し早良郡鳥飼村発足。
1919年 (大正8年)	鳥飼村は福岡市に合併
1929年 (昭和4年)	樋井川村が福岡市に合併